

題名 大すきなひょうごのうみ
作者名 境 香陽（さかい こはる）
学校名 明石市立高丘西小学校
学年 一年

わたしは、ひょうごけんあかししにすんでいます。三月に、ほいくしょをそつえんして一ねん生になりました。

はる、わたしがほいくしょをそつえんするころ、おとうさんがきんじょのスーパーで、いかなごをかってきて、くぎにをつくっててくれました。つくっているときから、いいにおいでした。おにぎりに入つていて、おべんとうに入つていて、とてもおいしかったです。なつ、おとうさんと、あかしかいきょう大はしのちかくに、つりにいきました。アジやサバをいっぱいりました。小さいサバはあまりおいしくないからにがしました。その日のよる、おとうさんがアジを天ぷらにしてくれました。とつてもおいしかったけど、ほねが気になつたので、一こだけにしました。

あき、大くらかいがんで、おとうさんとつりをしました。なかなかれなくて、となりでつりをしていたおじいさんが、アジをつるのを手つだつてくれました。となりのとなりでつりをしていたおじさんは、つれたハマチをくれました。その日のよる、おとうさんがアジの天ぷらと、ハマチのてりやきをつくってくれました。アジは、やつぱりほねがきになつて、一こたべました。てりやきは、おいしくて、四つくらいたべました。

ふゆ、きのさきにいきました。みんしゅくにとまつて、やきがニやカニグラタンをたべました。カニは、もともとあんまりすきじやなかつたけど、この日のカニはおいしかったです。いま、このさく文をかいでいるときも、おとうさんがキッチンで、きょうふねでつってきましたブリやハマチをさばいています。しゃぶしゃぶやおさしみにして、たべるのがたのしみです。

わたしは、はるなつあきふゆ・・・のそれぞれのきせつで、おいしいさかながとれるので、ひょうごけんのうみが大すきです。これからもずっと、大すきなうみで、つりやあそびをしたいです。